

< 目次 >

1. センター長挨拶	1頁
2. 機器管理委員長挨拶	2頁
3. 平成28年度 共同利用センター施設見学一覧	2頁
4. 共同利用センター保有機器リスト	3頁
5. 新任職員挨拶	6頁
6. 共同利用センター事務室からの連絡	6頁

1. センター長挨拶

共同利用センター長 黒田 孝義

平素から、共同利用センターの運営にご協力いただき誠に有り難うございます。昨年度は、センターから提案してありましたラマン分光装置の私学助成の申請が、大学当局から見送られました。これは、文科省の私学助成のシステムが大きく変わりつつあることによるものです。昨年も述べさせていただきました、私立大学等改革総合支援事業の他、昨年度から新たに私立大学研究ブランディング事業がスタートしております。これは、大学のブランド力を高めるために、学長のリーダーシップのもと、大学の特色ある研究を基軸として、全学的な独自色を大きく打ち出す取組を行う大学に対して経常費・設備費・施設費を一体として重点的に支援するもので、昨年度は近畿大学からバイオコークス事業が提案されて採択されております。私学助成のシステムは複雑で多岐に渡っておりますが、今後もこのように有る方向性を持った大学改革の中での研究設備に関する助成が増えていくことが予想されます。

これまで共同利用センターは、主に従来型の、研究者の発想に基づく学術の基礎的研究に必要な研究装置の申請を中心に、装置の充実を図ってきましたが、今後は、上述の新しい方針に沿った形での申請に重心を移していく必要があると思われます。幸い、本学では、昨年からの研究コア・クラスターの整備が進んでいるところですが、今後はこれら研究コアからの装置提案をもとに研究装置の充実を図る必要があります。その上で、既存装置の更新に対しては、粘り強く大学側と交渉するのは当然ですが、必要不可欠なものについては、私学助成とは切り離して更新の必要性を訴えていくことも重要です。さらに、ユーザーの利便性を高める上で、センター以外の学内の大学所有の既存の設備についても、今後はより一層の共同利用が可能なように情報の提供・共有を行いたいと考えております。皆様からのご意見をお待ちしております。

2. 機器管理委員長挨拶

機器管理委員長 南 武志

ヨーロッパで開催される分析関係の国際学会に参加するとき、最近気になることがあります。それは、最新の分析機器類を使用して、私たちが20年以上前に発表した研究内容とよく似た内容を発表される旧東ヨーロッパの参加者が多いことです。もちろん、最新の分析機器を用いているのですから精度は格段によくなっていますが、もう一工夫すればもっとエキサイティングな研究ができるのにといつも残念に思っていました。しかしそこでハタと気が付いた事があります。現在の日本では最新の分析機器を購入できるチャンスはなかなかありませんが、そうした中で私たちは感度や精度がいま一つの古い機器を使用し、アイデアのある研究テーマで世界と渡り合っています。一方、彼らも新しい機器類が入荷されたのでなんでも測定してみようかというのが今の状況で、もう少しすれば一工夫も二工夫もされた最新の機器を用いた研究が発表されだすのではないのでしょうか。そうなったとき、日本の次の世代は世界に対抗できなくなるのではと考えてしまいます。幸いにも近畿大学には共同利用センターという大型機器を一括管理運営できる部署があります。これを利用し、世界と渡り合える研究ができるように利用者全員で考え、継続的に最新の機器類の購入を検討していきたいと思う次第です。最後にいつもお願いしていることですが、共同利用センターは、利用者が最適な条件で使用できるように各機器に精通されている教員に機器管理委員をお願いしており、これは教員のボランティアで運営されています。機器管理委員の先生方に御礼申し上げるとともに、使用者の皆さまにはこのことを十分にご理解いただき、操作マニュアルに沿った装置の運用にご協力くださいますよう、改めてお願い申し上げます。今年は2年に一度の国際分光学会が開催される年です。どのような研究が発表されるか、日本の若手研究者に期待しています。

3. 平成28年度 共同利用センター施設見学一覧

中学・高校	その他
・ 東洋大学附属姫路高等学校	・ 福岡工業大学
・ 大阪府立福井高等学校	・ 日本工学会
・ 帝塚山高等学校	・ 山梨大学工学部
・ 山本高等学校	・ モスクワ大学
・ 兵庫県立尼崎西高等学校	・ 電気学会光エレクトロクス材料 技術調査専門委員会
・ 奈良市立一条高等学校	
・ 育英高等学校	
・ 近畿大学附属福岡高等学校	
・ 大阪府立芦間高等学校	
・ 兵庫県立高砂高等学校	
・ 東大阪市立日新高等学校	
・ 大阪府立布施高等学校	
・ 四條畷学園高等学校	
・ 関西大倉高等学校	
・ 慶北工業高等学校(韓国)	
・ 附属和歌山高等学校	

4. 共同利用センター保有機器リスト

設置場所		装置名	管理委員	所属	内線	
E-mail						
38 号 館 1 階	N101	超高分解能透過型電子顕微鏡(TEM) エネルギー分散型X線分析装置	副島 哲朗	理工・応用化学科	5213	
			soejima@apch.kindai.ac.jp			
	N102	電界放射線型走査電子顕微鏡(FE-SEM) エネルギー分散型X線分析装置	岩崎 光伸	理工・応用化学科	5238	
			m-iwa@apch.kindai.ac.jp			
	N104	機能性物質質量 分析システム	LC-MS	佐賀 佳央	理工・理学科	4365
			TOF-MS	saga@chem.kindai.ac.jp		
	N105	高性能タンデム二重収束 質量分析装置(MASS)	南 武志	理工・生命科学科	4383	
			minamita@life.kindai.ac.jp			
	N107	熱物性測定装置	TG	神山 匡	理工・理学科	4111
			DSC	kamiyama@chem.kindai.ac.jp		
	N108	マルチバンドESR測定システム 磁気特性測定システム(SQUID)	若林 知成	理工・理学科	4101	
			wakaba@chem.kindai.ac.jp			
	N115	核磁気共鳴装置(NMR) JNM-AL400型	大久保 貴志	理工・理学科	4117	
			okubo_t@chem.kindai.ac.jp			
	N118	電子マイクロアナライザー (EPMA)	丸本 真輔	共同利用センター	4808	
			marumoto@jrc.kindai.ac.jp			
	N119	X線光電子表面分析装置 (ESCA)	浅野 和典	理工・機械工学科	5368	
			asano@mech.kindai.ac.jp			
	N120	二次イオン質量分析計 (SIMS)	瀬口 泰弘	理工・応用化学科	5225	
			seguchi@apch.kindai.ac.jp			
N121	生体試料微量 元素分析システム	藤野 隆由	理工・応用化学科	5230		
		taka-f@apach.kindai.ac.jp				
N122	ICP-OES	南 武志	理工・生命科学科	4383		
		minamita@life.kindai.ac.jp				
S117	粉末X線分析装置 (XRD)	ICP-MS	瀬口 泰弘	理工・応用化学科	5225	
		SumartLab MiniFlex II	seguchi@apch.kindai.ac.jp			
S118	高周波グロー放電発光表面 分析装置(GD-OES)	岩崎 光伸	理工・応用化学科	5238		
		m-iwa@apch.kindai.ac.jp				
S119	蛍光X線分析装置(XRF)	山崎 秀夫	理工・生命科学科	4372		
		yamazaki@life.kindai.ac.jp				
S120	単結晶X線構造解析装置	Saturn70R	仲程 司	理工・応用化学科	5243	
		PILATUS	nakahodo@apch.kindai.ac.jp			
31号館 1階	固体核磁気共鳴装置 (固体NMR)	須藤 篤	理工・応用化学科	5203		
			asudo@apch.kindai.ac.jp			
39号館8階	フローサイトメーター BD LSRFortessa	早坂 晴子	理工・生命科学科	4426		
		hhayasaka@life.kindai.ac.jp				
	次世代シーケンサー (MiSeq)	松尾 一彦	薬学部・医療薬学科	5575		
		matsuo@phar.kindai.ac.jp				
IVIS Lumina XRMS イメージングシステム	田村 和朗	理工・生命科学科	4477			
	tamura@life.kindai.ac.jp					
			森山 博由	薬学総合研究所	5004	
			moriyama@phar.kindai.ac.jp			
39号館7階	マルチカラー解析機能搭載 自動化セルソーター BD FACSAria	早坂 晴子	理工・生命科学科	4426		
		hhayasaka@life.kindai.ac.jp				
			松尾 一彦	薬学部・医療薬学科	5575	
			matsuo@phar.kindai.ac.jp			
原研 R I 棟	液体シンチレーション計数装置	稲垣 昌代	原子力研究所	4427		
			masayo.inagaki@itp.kindai.ac.jp			
34号館1階	大型構造物試験装置	柳下 文夫	理工・社会環境工学科	4666		
		yagisita@civileng.kindai.ac.jp				
31号館 東側屋外	液体窒素供給設備	南 武志	理工・生命科学科	4383		
		minamita@life.kindai.ac.jp				

【奈良分室】 分室長:松田 一彦／農学部応用生命化学科

《 TEL(0742)43-7153(直通) 内線(7153) FAX(0742)43-8976 E-mail:kmatsuda@nara.kindai.ac.jp 》

設置場所		装置名	管理委員	所属	内線	
E-mail						
研究棟 2階	B12 17	分析電子顕微鏡	安藤 正史	水産学科	6299	
	ando@nara.kindai.ac.jp					
	B22 23	プロテオーム解析装置	松田 一彦	応用生命化学科	7153	
	kmatsuda@nara.kindai.ac.jp					
B22 21	バイオNMR構造解析装置	松田 一彦	応用生命化学科	7153		
		kmatsuda@nara.kindai.ac.jp				
B24 18	地球環境モニタリングシステム	奥村 博司	環境管理学科	7229		
		hiro@nara.kindai.ac.jp				
第一 共同 研究 棟	RI 実験 室	組換えDNAラジオアイソトープ実験システム	川崎 努	バイオサイエンス学科	8083	
			t-kawasaki@nara.kindai.ac.jp			
研究 棟2 階	B22 24	ポストゲノム機能解析システム	種坂 英次	農業生産科学科	5245	
			tanetsaka@nara.kindai.ac.jp			

【大阪狭山分室】 分室長:宮澤 正顯／医学部免疫学教室

《 TEL(072)366-0221 内線(3265) FAX(072)367-7660 E-mail:masaaki@med.kindai.ac.jp 》

設置場所		装置名	管理委員	所属	内線
E-mail					
研究棟 10階		微量生体成分遺伝子配列決定システム	峯 嘉宏	ライフサイエンス研究所	3593
bunseki3@med.kindai.ac.jp					
研究棟 10階		FACS Caliber システム	蔵下 伸治	ライフサイエンス研究所	3593
bunseki3@med.kindai.ac.jp					
研究棟 11階		マイクロプレート計算処理システム	山本 由紀子	ライフサイエンス研究所	3597
isotop@med.kindai.ac.jp					
研究棟 10階		高機能液体クロマトグラフ	本田 映子	ライフサイエンス研究所	3593
bunseki3@med.kindai.ac.jp					
研究棟 11階		次世代シーケンサー	寺嶋 雅人	ライフサイエンス研究所	3150
m-teras@med.kindai.ac.jp					
研究棟 10階		多項目自動血球分析装置	和田 拓也	ライフサイエンス研究所	3593
bunseki3@med.kindai.ac.jp					

【広島分室】 分室長:野村 正人／工学部化学生命工学科

《 TEL(082)434-7000 内線(300) FAX(082)434-7011 E-mail:nomura@hiro.kindai.ac.jp 》

設置場所		装置名	管理委員	所属	内線
E-mail					
F館構造 実験棟 F106		万能試験機	大田 和彦	建築学科	407
kohta@hiro.kindai.ac.jp					
D館1階 D122		超伝導核磁気共鳴装置	野村 正人	化学生命工学科	300
nomura@hiro.kindai.ac.jp					
D館1階 D142		ピコ秒時間分解ラマン散乱測定装置	岡田 和之	電子情報工学科	650
okada@hiro.kindai.ac.jp					

【九州分室】 分室長: 藤井 政幸 / 産業理工学部生物環境化学科
 《TEL(0948)22-5655 内線(210) FAX(0948)23-0536 E-mail:mfujii@fuk.kindai.ac.jp》

設置場所	装置名	管理委員	所属	内線
		E-mail		
2号館 1階	機能性材料迅速組成分析システム	藤井 政幸	生物環境化学科	210
		mfujii@fuk.kindai.ac.jp		
2号館 1階	高分解能超伝導NMRシステム	藤井 政幸	生物環境化学科	210
		mfujii@fuk.kindai.ac.jp		
5号館 G1	ショットキーエミッション型走査電子顕微鏡	河津 博文	生物環境化学科	212
		kawazumi@fuk.kindai.ac.jp		
2号館 1階	テラヘルツ分光システム	田中 賢二	生物環境化学科	209
		tanaka@fuk.kindai.ac.jp		

【和歌山分室】 分室長: 松本 和也 / 遺伝子工学科
 《TEL(0736)-77-3888 内線(4404) FAX(0736)77-4754 E-mail:kazum@waka.kindai.ac.jp》

設置場所	装置名	管理委員	所属	内線
		E-mail		
研 究 所	走査型近視野原子間力 顕微鏡SPI 3800	加藤 博巳	先端技術総合研究所	2203
	kato@waka.kindai.ac.jp			
	共焦点レーザースキャン顕微鏡 TCSNTシステム	加藤 博巳	先端技術総合研究所	2203
	kato@waka.kindai.ac.jp			
研 究 所	蛍光顕微鏡および FISHシステム	加藤 博巳	先端技術総合研究所	2203
	kato@waka.kindai.ac.jp			
研 究 所	キャピラリーDNAシーケンサー ABI PRISM 310	加藤 博巳	先端技術総合研究所	2203
	kato@waka.kindai.ac.jp			
東1号館 1階	万能引張試験機 オートグラフAG-1000E	山本 衛	医用工学科	4522
		ei@waka.kindai.ac.jp		
西1号館 1階	YAGレーザー加工機 JK701H	大政 光史	人間工学科	4501
		ohmasa@waka.kindai.ac.jp		
東1号館 6階	デジタルフローサイトメーター Coulter Epics-XL	星 岳彦	生物工学科	4130
		hoshi@waka.kindai.ac.jp		
東1号館 1階	マイクロ波ネットワークアナライザー HP8719C	山脇 伸行	医用工学科	4206
		yamawaki@waka.kindai.ac.jp		

※東大阪キャンパス内の機器使用についてのお願い

装置室を離れる場合は、戸締りをして鍵を事務室に返却してください。
 時間外の場合は、鍵は西門守衛室に返却してください。
 紛失を避けるため、研究室には持ち帰らないようお願い致します。

5. 新任職員挨拶

技術職員 廣田 圭耶

この4月より共同利用センター・技術職員として着任いたしました廣田 圭耶(ヒロタ ケイヤ)と申します。これまでは近畿大学大学院・博士前期課程において、光合成細菌のクロロフィル色素や光合成タンパク質に関する研究に携わっておりました。これからは、学生時代の経験を基に、サンプルの分析などで生じる問題や疑問などに丁寧かつ迅速に対応し、学生の皆様や先生方に共同利用センターの分析機器をスムーズに使用していただけるよう尽力致します。また、共同利用センターには高機能・高性能な分析機器が揃っており、大学として重要な施設であると考えています。これらの機器がこれまで以上に在学生に認知されることに加え、充実した研究施設の存在が受験生へのアピールにもつながるよう活動していきたいと考えております。今後、ますます高度化、最先端化する近畿大学の研究をサポートができるよう鋭意努力して参りますので、どうぞよろしくお願い致します。

6. 共同利用センター事務局からの連絡

近畿大学共同利用センター ユーザーの皆様へ

(1)ライセンス講習会を実施致しました(対象:東大阪キャンパス内に設置の機器)

本年5月から6月にかけて、東大阪キャンパス内に設置の機器につきライセンス講習会を行いました。ライセンス取得者は、使用上のルールを守り、機器の使用に習熟のうえ十分にご活用頂けますようお願い申し上げます。また、機器のトラブル等にお気づきの際には、速やかに共同利用センターまでお知らせください。

(2)研究成果公表時の謝辞等の記載について

共同利用センターでは、共同利用機器ラインナップや研究支援体制の充実を図り、ユーザーの皆様の教育研究活動をより強力に支援させていただきたいと考えております。そのためには、共同利用センターの効果実績を内外へアピールすることが不可欠です。そこで、今後、共同利用センター設置の機器を使用した研究成果を公表される際には、下記の例文を参考に、謝辞あるいは使用した機器を明示していただきますようお願い申し上げます。

<謝辞例文・英語>

- The authors gratefully thank Division of Joint Research Center, Kindai University for the xxx measurements.
- We thank Kindai University Joint Research Center for use of facilities.
- The xxx measurement and xxx analyses were performed at the Kindai University Joint Research Center.

<謝辞例文・日本語>

- ○○測定と△△分析は近畿大学共同利用センターで行いました。

(3)利用状況報告書作成へのご協力をお願い

共同利用センターでは、毎年「利用状況報告書」を作成しております。この作成にあたり、ユーザーの皆様の公表論文および学会発表リストのご提出をお願いしております。どうぞご協力の程、よろしくお願い致します。